

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年6月12日

【四半期会計期間】 第58期第3四半期
(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

【会社名】 ゼネラルパッカー株式会社

【英訳名】 GENERAL PACKER CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 牧野 研二

【本店の所在の場所】 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地

【電話番号】 0568(23)3111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 大西 章三

【最寄りの連絡場所】 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地

【電話番号】 0568(23)3111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 大西 章三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

(注) 当第3四半期会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期 連結累計期間	第58期 第3四半期 連結累計期間	第57期
会計期間	自 2017年8月1日 至 2018年4月30日	自 2018年8月1日 至 2019年4月30日	自 2017年8月1日 至 2018年7月31日
売上高 (千円)	4,678,099	5,591,678	7,098,094
経常利益 (千円)	154,315	547,569	376,557
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	109,389	376,341	260,456
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	112,922	368,097	262,615
純資産額 (千円)	3,407,564	3,837,282	3,557,257
総資産額 (千円)	7,999,673	8,835,056	8,192,559
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	61.60	213.09	146.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	42.6	43.4	43.4

回次	第57期 第3四半期 連結会計期間	第58期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年2月1日 至 2018年4月30日	自 2019年2月1日 至 2019年4月30日
1株当たり 四半期純利益金額 (円)	35.44	70.55

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式交付信託が保有する当社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（包装機械事業）

株式会社ワイ・イー・データは2018年8月1日付で、会社分割により株式会社FAMSを設立しております。メカトロソリューション事業（ロボット応用システム）は株式会社FAMSに承継され、前連結会計年度末時点で株式会社ワイ・イー・データが所有していた当社株式270,000株は、2018年8月1日付で株式会社FAMSへ譲渡されております。よって第1四半期連結会計期間より、株式会社ワイ・イー・データは当社のその他の関係会社ではなくなり、株式会社FAMSが新たに当社のその他の関係会社となっております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及適用後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に足踏みがみられたものの、個人消費の持ち直しの動きや雇用情勢の着実な改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化、生産力の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業・生産機械事業ともに好調に推移した結果、前年同期に比べ913百万円の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における売上総利益率の改善に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ大幅な増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,591百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益は544百万円（前年同期比259.6%増）、経常利益は547百万円（前年同期比254.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は376百万円（前年同期比244.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業

海外市場での給袋自動包装機の販売台数の増加及び国内市場での製袋自動包装機の販売台数の増加により、売上高は4,618百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、売上総利益率の改善に伴い、営業利益は486百万円（前年同期比162.6%増）となりました。

生産機械事業

大型プラント案件の販売実績の増加に伴い、売上高は973百万円（前年同期比95.6%増）、営業利益は57百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は8,835百万円となり、前連結会計年度末に比べて642百万円増加いたしました。この主たる要因は、棚卸資産が566百万円、現金及び預金が167百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,997百万円となり、前連結会計年度末に比べて362百万円増加いたしました。この主たる要因は、前受金が354百万円増加したこと等によります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,837百万円となり、前連結会計年度末に比べて280百万円増加いたしました。この主たる要因は、利益剰余金が288百万円増加したこと等によります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は169百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,600,000
計	5,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年4月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年6月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,798,800	1,798,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	1,798,800	1,798,800		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年2月1日～ 2019年4月30日		1,798,800		251,577		282,269

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年1月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,796,500	17,965	同上
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	1,798,800		
総株主の議決権		17,965	

(注) 「完全議決権株式(その他)」には、役員向け株式交付信託の信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式31,200株が含まれております。

【自己株式等】

2019年4月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ゼネラルパッカー株式会社	愛知県北名古屋市宇福寺 神明65番地	1,400		1,400	0.07
計		1,400		1,400	0.07

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式31,200株は、上記の自己株式等に含まれておりません。なお当該株式は、四半期連結財務諸表において自己株式として表示しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年2月1日から2019年4月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年8月1日から2019年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第57期連結会計年度 有限責任監査法人トーマツ

第58期第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間 仰星監査法人

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,525,475	1,693,055
受取手形及び売掛金	1,596,012	1,433,364
仕掛品	1,760,678	2,325,675
原材料及び貯蔵品	376,961	378,492
未収入金	206,044	373,415
その他	92,996	48,647
流動資産合計	5,558,168	6,252,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	411,351	399,604
土地	646,125	646,618
その他(純額)	20,788	43,106
有形固定資産合計	1,078,264	1,089,329
無形固定資産		
のれん	659,928	632,558
技術資産	594,789	570,121
その他	134,045	122,064
無形固定資産合計	1,388,763	1,324,744
投資その他の資産	167,361	168,332
固定資産合計	2,634,390	2,582,405
資産合計	8,192,559	8,835,056
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,937,935	1,760,903
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	111,996	111,996
未払法人税等	99,091	102,678
前受金	840,182	1,194,914
賞与引当金	-	75,087
役員賞与引当金	18,500	-
製品保証引当金	29,674	28,148
その他	535,675	546,579
流動負債合計	3,573,056	4,020,307
固定負債		
長期借入金	634,678	551,181
株式給付引当金	8,550	15,412
退職給付に係る負債	37,779	41,634
その他	381,237	369,238
固定負債合計	1,062,244	977,466
負債合計	4,635,301	4,997,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	306,392	306,392
利益剰余金	3,048,007	3,336,279
自己株式	67,206	67,210
株主資本合計	3,538,769	3,827,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,211	12,823
為替換算調整勘定	1,723	2,577
その他の包括利益累計額合計	18,488	10,245
純資産合計	3,557,257	3,837,282
負債純資産合計	8,192,559	8,835,056

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年8月1日 至2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年4月30日)
売上高	4,678,099	5,591,678
売上原価	3,518,270	4,024,020
売上総利益	1,159,828	1,567,657
販売費及び一般管理費	1,008,372	1,023,041
営業利益	151,455	544,616
営業外収益		
受取利息	222	199
受取配当金	375	406
仕入割引	2,077	1,564
受取保険金	-	2,098
その他	4,530	2,949
営業外収益合計	7,205	7,218
営業外費用		
支払利息	4,344	4,265
営業外費用合計	4,344	4,265
経常利益	154,315	547,569
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	154,315	547,569
法人税、住民税及び事業税	70,583	190,803
法人税等調整額	25,657	19,575
法人税等合計	44,926	171,227
四半期純利益	109,389	376,341
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,389	376,341

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	109,389	376,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,705	7,388
為替換算調整勘定	827	854
その他の包括利益合計	3,533	8,243
四半期包括利益	112,922	368,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,922	368,097

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
受取手形	- 千円	49,382千円
支払手形	- 千円	62,774千円

2 ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
未収入金	130,396千円	365,999千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
減価償却費	71,373千円	70,420千円
のれんの償却額	27,370千円	27,370千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年10月25日 定時株主総会	普通株式	35,546	20.00	2017年7月31日	2017年10月26日	利益剰余金
2018年3月5日 取締役会	普通株式	35,546	20.00	2018年1月31日	2018年4月5日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月25日 定時株主総会	普通株式	43,135	24.00	2018年7月31日	2018年10月26日	利益剰余金
2019年3月4日 取締役会	普通株式	44,933	25.00	2019年1月31日	2019年4月5日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装機械	生産機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,183,230	494,868	4,678,099		4,678,099
セグメント間の内部売上高又は振替高		2,776	2,776	2,776	
計	4,183,230	497,644	4,680,875	2,776	4,678,099
セグメント利益又は損失()	185,364	34,372	150,991	463	151,455

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額463千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装機械	生産機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,618,066	973,612	5,591,678		5,591,678
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	4,618,066	973,612	5,591,678		5,591,678
セグメント利益	486,689	57,476	544,166	450	544,616

(注) 1 セグメント利益の調整額450千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	61.60円	213.09円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	109,389	376,341
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	109,389	376,341
普通株式の期中平均株式数(株)	1,775,854	1,766,129

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式交付信託が保有する当社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間4,554株、当第3四半期連結累計期間31,200株であります。

2 【その他】

第58期(2018年8月1日から2019年7月31日まで)中間配当について、2019年3月4日開催の取締役会において、2019年1月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	44,933千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年4月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年6月6日

ゼネラルパッカー株式会社
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	柘	植	里	恵
指定社員 業務執行社員	公認会計士	小	出	修	平

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているゼネラルパッカー株式会社の2018年8月1日から2019年7月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年2月1日から2019年4月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年8月1日から2019年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ゼネラルパッカー株式会社及び連結子会社の2019年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2018年7月31日をもって終了した前連結会計年度の第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2018年6月5日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2018年10月26日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。